



49
1064
4



179
1064
4

普救類方卷之二下



後陰之部
肛門

林良適
丹羽正伯

纂輯

肛門こうもん

菟絲子うすいを熬あ黒くろくく粉こな子このこ黄わうことと記き傳でんくくく 千金方 易方

肛門こうもん

馬齒ばし苋けんのの紫し酸さん漿じやう草そうのの葉えつ等と分ぶん水すいとと煮にくく肛門こうもんとと煮にくく

ああふふんん 本草綱目

又方また苦く麻まをを搗つむむらら一一傳でんてて下下 同

又方また丹たん物ぶつととたたらら磨ら水すいををののこことと下下 同

又方また鰯いわし半はんをを研ひききらら塗ぬるるこことと下下 醫說



91-1812

肛門の急がく腫或々痛く痛きく

白朮二石粉一熱を童便天目二盞のうらふれを中夜一日

二夜づつ肛門をあかす

救急易方

又方根売を中夜を焼くして肛門を重くす

又方根売を中夜を焼くして肛門を重くす

又方杏仁を拵くからしめて肛門の内出ありて腫痒痛に

本草綱目

肛門に瘡出来し

生漆をぬりて

又方蒼朮の葉を搗くからしめて肛門に

日一二夜たりて

又方又倍子一石山椒子一石炒て二分細辛焙りて二分粉

先葱湯に之を煮て

又方塩を熬布しつゝ肛門を覆て

痔漏

一切の痔瘻或は

又方根の根水

又方甘草を水小く煮

又方本綿の花と根と沃掃

水に煮て湯に

又方蜂房一つ

一日二三夜づつ

又方大菊

又方大菊

本草綱目

又方蒲葦の粉カサ一カサ温カサ酒カサ入カサ後カサ飲カサてカサ下カサ 本草綱目
又方槐カサと柳カサをカサ水カサ煮カサトカサ病カサをカサあカサひカサてカサ後カサをカサらカサ病カサのカサ下カサ多カサ
飲カサ七カサ壯カサをカサ入カサてカサ下カサ 同

又方黃連カサの粉カサ赤カサ豆カサの粉カサ研カサせカサ付カサてカサ下カサ 同

又方西瓜カサの皮カサをカサ水カサ煮カサくカサ煮カサトカサ重カサあカサひカサてカサ下カサ 千金簡易方

酒カサをカサ多カサくカサ飲カサてカサ下カサ 病カサのカサ重カサくカサ下カサ

本草綱目

絲瓜カサをカサ水カサ煮カサくカサ二カサ日カサ酒カサをカサ入カサてカサ下カサ

又方黃連カサをカサ酒カサにカサ煮カサてカサ下カサ 煮カサ熱カサしてカサ粉カサにカサ酒カサ糊カサをカサ其カサ大カサにカサ死カサ
せカサ程カサづカサ白カサ湯カサにカサ用カサ也カサ 病カサ血カサのカサ下カサ用カサてカサ下カサ 同

痢カサ病カサのカサ後カサ痔カサあカサりカサ下カサ

冷水カサにカサ煮カサ連カサのカサ粉カサをカサ水カサにカサ煮カサてカサ下カサ 同

痔カサ漏カサのカサ久カサしカサくカサ孔カサあカサりカサ痔カサ或カサはカサ血カサをカサ下カサすカサ方カサなりカサ

魚肉カサ一カサ苗カサ香カサとカサ葱カサをカサ水カサ煮カサてカサ下カサ 煮カサ熱カサしてカサ粉カサにカサ酒カサ糊カサをカサ其カサ大カサにカサ死カサ
せカサ程カサづカサ白カサ湯カサにカサ用カサ也カサ 病カサ血カサのカサ下カサ用カサてカサ下カサ 同

らカサ酒カサ醋カサ等カサれカサ熱カサがカサらカサ相カサ忌カサなりカサ 同

又方荊芥カサをカサ水カサ煮カサてカサ下カサ 煮カサ熱カサしてカサ粉カサにカサ酒カサ糊カサをカサ其カサ大カサにカサ死カサ
せカサ程カサづカサ白カサ湯カサにカサ用カサ也カサ 病カサ血カサのカサ下カサ用カサてカサ下カサ 同

又方田螺カサ二カサつカサの内カサへカサ龍カサ腦カサ一カサをカサ水カサ煮カサてカサ下カサ 煮カサ熱カサしてカサ粉カサにカサ酒カサ糊カサをカサ其カサ大カサにカサ死カサ
せカサ程カサづカサ白カサ湯カサにカサ用カサ也カサ 病カサ血カサのカサ下カサ用カサてカサ下カサ 同

をカサ水カサ煮カサてカサ下カサ 煮カサ熱カサしてカサ粉カサにカサ酒カサ糊カサをカサ其カサ大カサにカサ死カサ
せカサ程カサづカサ白カサ湯カサにカサ用カサ也カサ 病カサ血カサのカサ下カサ用カサてカサ下カサ 同

又方本カサ饅カサ頭カサのカサ葉カサをカサ水カサ煮カサてカサ下カサ 煮カサ熱カサしてカサ粉カサにカサ酒カサ糊カサをカサ其カサ大カサにカサ死カサ
せカサ程カサづカサ白カサ湯カサにカサ用カサ也カサ 病カサ血カサのカサ下カサ用カサてカサ下カサ 同

又方桃カサ葉カサをカサ水カサ煮カサてカサ下カサ 煮カサ熱カサしてカサ粉カサにカサ酒カサ糊カサをカサ其カサ大カサにカサ死カサ
せカサ程カサづカサ白カサ湯カサにカサ用カサ也カサ 病カサ血カサのカサ下カサ用カサてカサ下カサ 同

治法彙

又方槐カサ木カサ白カサ皮カサをカサ水カサ煮カサてカサ下カサ 煮カサ熱カサしてカサ粉カサにカサ酒カサ糊カサをカサ其カサ大カサにカサ死カサ
せカサ程カサづカサ白カサ湯カサにカサ用カサ也カサ 病カサ血カサのカサ下カサ用カサてカサ下カサ 同

小カサ一カサ其中カサにカサ在カサるカサ虫カサたカサのカサづカサらカサあカサらカサ湯カサにカサ煮カサてカサ下カサ 煮カサ熱カサしてカサ粉カサにカサ酒カサ糊カサをカサ其カサ大カサにカサ死カサ
せカサ程カサづカサ白カサ湯カサにカサ用カサ也カサ 病カサ血カサのカサ下カサ用カサてカサ下カサ 同

千金簡易方

又方蒜カサ一カサつカサ搗カサをカサらカサしカサ酒カサにカサ煮カサてカサ下カサ 煮カサ熱カサしてカサ粉カサにカサ酒カサ糊カサをカサ其カサ大カサにカサ死カサ
せカサ程カサづカサ白カサ湯カサにカサ用カサ也カサ 病カサ血カサのカサ下カサ用カサてカサ下カサ 同

衛生易簡方

又方養耳子五合水二升入一升五合一粟一粳米四合を右の
けし之瀾一々空後一合とべ一或は空瀾を帯く用るも
一を人々く用るも身熱一不食をり用也 得効方

脱肛

脱肛 脱肛

鯽魚の頭を焼粉一酒を飲下すべ一并は右の粉を油一々
と脱肛紅一ゆりてり 本草綱目

又方桐葉の子を搗碎して煮布一洗を懸てり一或は根を燒
を爛して煮てり 同

又方大角の田螺二つ三つ清き水一入三四日経玉液をそそ
かして煮連を粉一右の田螺の口へ入れおけば肉化してあつ
なりあり先は煮て湯一を煮湯一脱肛をあつひたの田螺の
けを多れ取一ひて脱肛一ゆりてり一綿を付懸べ一 同

又方蓮葉を精粉一して二合づつ酒一用也并一蓮葉一右の
粉を包一して脱肛をあてり一 同

又方紫背蕈を研ぐら一先朴硝を水一ゆりて脱肛をあつひ
苞蕈の葉一して脱肛をたしれ一後右の研ぐら蕈を脱肛にあて
煮とべ一おのづから煮まりのり一 衛生易簡方

又方艾葉を水一して煮てり一脱肛を灸く候一やうか
かして苞蕈葉一をそそりてり一 得効方

脱肛 脱肛 脱肛 脱肛 脱肛 脱肛 脱肛 脱肛 脱肛 脱肛
蜂蜜一合生薑一合一合一合一合一合一合一合一合一合一合
ぬれはたのづから煮まりのり一 同

痢病の脱肛紅かき入るり
注水一を煮連の粉と脱肛一
又方養耳子を序密一して一合一合一合一合一合一合一合一合一合一合
味かき一 本草綱目

又方椽斗子煨粉猪肪とと記付てう同

又方椽斗子散を水煮下あつひとてう同

又方百葉菜一塊梅干三ツ木瓜一ツさう水煮下飲てよ同

脱肛血出やまとてう同

桑本耳十五附子十五粉一毫一抄大豆の大き一丸一とて二
四十粒飯のそり湯一て用ゆ同 附子の事製法のやあり

風批アと脱肛あとてう同

鐵粉白飲一と研粉一傳一同

大便出と小脱肛あとてう同

蝟牛とやま一灰一猪肪一とと記付てう同

小兒脱肛あとてう同

傳信尤易方

又方菱角殼を粉一に一水一煮一下一脱肛を重一へ一とてう同

又方伏肝又女一鼈一殼一煨一灰一と二一女一又一百葉菜一一一女一と粉一

小一紫蘇一を水一煮一下一并一大一粉一葉一殼一麻油一と抄一り一脱

肛一と付一て上一得効方

小兒腹一とてう同

又方白粉骨を粉一と付一て上一并一大一粉一葉一殼一麻油一と抄一り一脱

肛一と付一て上一得効方

又方白粉骨を粉一と付一て上一并一大一粉一葉一殼一麻油一と抄一り一脱

小便之部

小便法

小便一とてう同

小便一とてう同

薺子水せきすいを煮にて黄わうののじのじー 本草綱目

又古浮萍こぶへいを日ひり粉こなして一ひとふづふづくく津つを飲の下くだまますすー 同

又方白芷びやくしを醋すひひくく一ひと煎せん糖ちやうかかり粉こなして一ひとふふ通つう車しや草そうの黄わう湯たうを飲のべべー 宗そう沛はい子し小便せうべんををりり一ひとなりなりー 同

又方紫葳しゆい粉こなををりり二ふたふふづづ汲ひくくその水みづをを用もちゆゆ 同

又方藤系とうけい草そうををりり煮にて黄わうののじのじー 同

小便せうべんををりりくくああくくかかどどして通つうじじかかゆるゆるふ

自みづかの瓜うりををりり焼やく灰はいふふくくゆゆその水みづをを下くだまますすー 同

又方滑石くわつせきの粉こな二ふた女に葱しゆんををりり煮にて黄わうののじのじー 同

小便せうべん熱ねつして通つうじじかかゆるゆるふ

樺か木ぼく皮ひををりり煮にて黄わうののじのじー 同

小便せうべん不通ふつう

小便せうべん通つうじじかかゆるゆるふ

滑石くわつせきの粉こなを車くるまををりりののけけをを神しん脚けつののすすりり二ふた四し寸すん四し方ぱう程ぢやうににゆゆりり乾かんいい米まい皮ひもも貼はりり冬ふゆのの水みづををりりゆゆりり一ひとなりなりー 本草綱目

又方白貝びやくかい子し二ふたつつつつのの焼やく一ひとははししをを粉こなして温あつちやうるる酒しゆをを用もちゆゆ 同

又方冬葵たうき子し二ふた合がうををりり煮にて黄わうののじのじー 合がう小せう黄わうののじのじー 同

又方冬葵たうき子し二ふた合がうををりり煮にて黄わうののじのじー 合がう小せう黄わうののじのじー 同

又方苧麻ちやうま子し二ふた合がうををりり煮にて黄わうののじのじー 合がう小せう黄わうののじのじー 同

又方白芷びやくしををりり煮にて黄わうののじのじー 同

又方葱しゆんのの白びやく根こんををりり煮にて黄わうののじのじー 同

又方夜魚やぎよををりり煮にて黄わうののじのじー 同

又方天てん牛ぎゆのの肉にくををりり煮にて黄わうののじのじー 同

又方猪ちゆのの下くだ寸すん三さん分ぶんををりり煮にて黄わうののじのじー 同

又方猪ちゆのの肉にくををりり煮にて黄わうののじのじー 同

又六大麦と水とを煮て濃煎し温く煮たり一飲べし 彙聚單方 暴證知要

又赤鯉魚の鱗とすりやを灰にして一合ほど用也 暴證知要

空濕しあさり小便通せざる 治法彙

赤茯苓 白朮 乾薑 甘草 水 煮 煎 下 利 其 一

肉桂ありて唇二つを赤く小便通せざる 得効方

本通連翹を粉にして一合つまの煮付けて一合 得効方

を人気がよく小便通せざる 得効方

綿黄衣 厚皮 耳葉 各一分 煮 煎 下 利 其 一

煮一利也 同

小便通せざる小便通せざる 虚寒れ病

附子一ツ 熟灰一合 煮 煎 下 利 其 一

や久しと煮出しかかり 煮 煎 下 利 其 一

一盃半 煎 下 利 其 一

本草綱目

率一小便通せざる

鶏子の白をのこして 暴證知要

又方此を煮て粉して二合ほどその水とれ用也 女人小便率に通せ

ばり一用せり 彙聚單方

膀胱の大概男も女もも房事一精の通ざるをいへ或は小

便とていふかどとる小なり小便独いとも小便つぎせざるなり

阿膠三十合水又合して煮下 濃煎し灰のこして 千金簡易方

又方麻子を水と煮下 煮下り一飲てより 同

又方髪次焼灰して二合滑石を粉して一合 枇杷の白皮を

水と煮下り一合付て用也 同

又方沉香本香各一分 粉して二合 煮下 煎 下 利 其 一

本草綱目 淋病 一切の淋病

榆皮を陰干し焙粉して三五水天目小一盃いれ煮下つち
錫のてくう一盃衣にかきこも用てり
本草綱目

又方大麻子八十五すり中いれくまを渣を去り去其けり
糲米二合を粥煮て食とべり
同

又方苳苳根切粉のたを夜ふすり密に浸し焙かへりまこひ
く焙く米皮もして蜜二十なやと浸しそと焙熟
焦きぬやうにして中後にかき焙下とべり
傳信尤易方

又方赤小豆二合炒粉し煮の白根一盃火いれうづこやき
中いれくま二味合く二盃づ温る酒いれ飲べり
衛生易簡方

又方苳苳根と新子の白くそすり緑豆のたを丸ど九
粒づ中後白湯して用也
彙聚單方

又方山梔子黒炒粉して二盃づ白湯して用也
同

又方瞿麥一盃苳苳根一盃水天目小一盃半入一盃煮下つち
本草綱目

腹下用ゆ得効方

老人淋病才熱一腹下用ゆ

小便一盃不通水天目小一盃半入七すり煮下つち用也
本草綱目

老人淋病いこも中後白湯して用也
傳信尤易方

淋病小便赤く熱して快いも
本草綱目

馬齒莩根切粉を煮下つち用也
本草綱目

又方大薊の根を粉を煮下つち用也
同

又方白茅根一合水二合煮入煮下つち用也
同

又方薏苡仁并一盃も根を煮下つち用也
同

夏りく冷して用也
同

本草綱目

又方乾材能心管子一水之煮ト用てり

冷淋

冷淋小便赤く痛はきなり

榭葉をまぶして二五煎白根をまぶれ水天目二五入六分

一煮ト用てり

血淋

淋痛小便血をいづ痛はきなり

冬麥子一合水三合いれ煮ト渣をさり飲てり

又方茄の葉乾り乾く粉して二五温る酒を用ゆ或は

塩湯一くも用也

又方車前子と粉して二五車前子水一煮ト用てり

又方乾柿を乾度一く二五飯のそり湯を用ゆ

又方苦麻根を水一煮ト煮てり小用てり

又方芭蕉根早蓮葉を水一煮ト用てり

又方大豆の皮を水一煮ト用てり

膏淋

淋痛小便膏のどく痛はきなり

茯苓根を粉して二合煮てり酒を干して二五飯のそり湯を用ゆ

小便より白汁を煮て一合ト用てり

又方海金沙十合滑石十合甘草二合を粉して二五煮てり

冬の煮湯一煮ト用てり小用てり

沙石淋

沙淋小便より沙石を吐かり痛はきなり

石を煮の石十四箇席を石の料目やどれ目ト粉して水一

合を煮ト二合水一煮てり飲てり

又方首蒼根を粉して煮てり

又方首蒼根を粉して煮てり

本草綱目

本草綱目

又方煑糞灰粉一合煮一盃水（水）そのとろきべし
 又方罌粟子と搗粉一七（七）一盃水（水）用也日二夜（夜）服用（用）て（て）同
 又方蔞草の根を切り出（出）し（し）て（て）ひきさられ（れ）け（け）ち（ち）り（り）を（を）け（け）を
 二三合（合）と（と）煮（煮）り（り）飲（飲）べし（べし）石堅（堅）く（く）愈（愈） 同
 又方胡桃の肉一合米一合同（同）トク（トク）粥（粥）一煮（煮）て（て）合（合）と（と）べし（べし） 同
 又方黑豆百二十粒耳草（草）八九分（分）對（對）水（水）を（を）煮（煮）ト（ト）滑（滑）石（石）の（の）粉（粉）を（を）一（一）盃（盃）れ
 かし（かし）ゆ（ゆ）を（を）煮（煮）ト（ト）飲（飲）く（く）より（より） 衛生易簡方

氣淋

氣淋 淋病（淋病）を（を）治（治）す（す）る（る）方（方）なり（なり）

暴證知要

私底の苦をゆ（ゆ）そ（そ）煮（煮）ト（ト）煮（煮）り（り）に（に）の（の）と（と）し（し）より（より）
 又方塩を熬（熬）熱（熱）一布（布）一（一）寸（寸）と（と）煎（煎）の下（の下）と（と）煎（煎）て（て）ゆ（ゆ）に（に）煎（煎）て（て）の（の）と（と）し（し）より（より） 同

卒患淋

卒患淋 淋病（淋病）を（を）治（治）す（す）る（る）方（方）なり（なり）

葱を灰の中（中）にいれ（い）る（る）を（を）焼（焼）く（く）熱（熱）く（く）煮（煮）く（く）方（方）を（を）搗（搗）粉（粉）し（し）て（て）ゆ（ゆ）に（に）煎（煎）て（て）の（の）と（と）し（し）より（より） 本草綱目
 又方牛の耳（耳）中（中）に（に）毛（毛）と（と）り（り）焼（焼）く（く）又（又）分（分）水（水）を（を）用（用）也（也）尾（尾）毛（毛）下（下）も（も）よ（よ） 同
 又方大麥（麥）を（を）水（水）に（に）煮（煮）ト（ト）生（生）姜（姜）一（一）寸（寸）を（を）い（い）れ（れ）多（多）く（く）飲（飲）べし（べし） 同
 又方善羅（羅）又（又）芭蕉（蕉）根（根）二（二）分（分）水（水）天（天）同（同）二（二）盃（盃）を（を）煮（煮）ト（ト）煮（煮）り（り） 同
 煮（煮）つ（つ）る（る）滑（滑）石（石）の（の）粉（粉）一（一）分（分）れ（れ）か（か）き（き）ゆ（ゆ）に（に）煎（煎）て（て）の（の）と（と）し（し）より（より） 同

小便頻數

小便頻數

牡蠣（牡蠣）十（十）分（分）小便（小便）一（一）合（合）水（水）を（を）煮（煮）ト（ト）八（八）分（分）水（水）を（を）用（用）也（也） 同
 又方草薢（薢）を（を）粉（粉）し（し）酒（酒）糊（糊）し（し）椒（椒）目（目）粒（粒）に（に）透（透）百（百）粒（粒）つ（つ）酒（酒）の内（の内）に（に）煮（煮）く（く）
 又方（又）泥（泥）香（香）十四（十）七（七）分（分）生（生）一（一）寸（寸）七（七）分（分）煑（煑）灰（灰）二（二）分（分）炮（炮）小（小）一（一）寸（寸）た（た）か（か）ト（ト）く（く）合（合）と（と）べし（べし） 同
 又方胡麻（麻）を（を）煑（煑）灰（灰）一（一）分（分）れ（れ）ぐ（ぐ）と（と）焼（焼）く（く）一（一）分（分）出（出）枝（枝）を（を）け（け）り（り）仁（仁）を（を）け（け）り（り）か（か）き（き）
 と（と）き（き）温（温）く（く）酒（酒）に（に）煎（煎）て（て）の（の）と（と）し（し）より（より） 同

又方糯米餅を多り軟くし寝る所を食温る酒を吞下せし
若酒を飲ぶる人六湯を月日志すくわりの物をもとる
附 衛生易簡方

又方酒一壺か煮がしれ山菜を煮て食後食とす
小便過多 治法彙

小便多し通下せし

本草綱目

象牙を焼灰しし汁を飲下しせし
又方牡蛎とそ病人の小便を煮下しせし
又方雞腸を搗き汁を煮下しせし
衛生易簡方

遺尿

送尿小便多し通下せし

蘆の子を合米一升ひきの粥に煮て湯を飲べし
又方桑木耳を粉しして湯に煮て湯を飲べし
本草綱目

又方赤小豆を研き汁を飲下しせし
又方鹿角屑を煮し粉しして湯に煮て湯を飲下しせし
治法彙

又方烏茶粉しして湯に煮て湯を飲下しせし
又方大耳草の根を粉しして湯に煮て湯を飲下しせし
本草綱目

又方赤小豆の皮を搗き汁を飲下しせし
又方桑螵蛸を酒に煮し粉しして湯に煮て湯を飲下しせし
衛生易簡方

又方桑螵蛸を酒に煮し粉しして湯に煮て湯を飲下しせし
又方桑螵蛸を酒に煮し粉しして湯に煮て湯を飲下しせし
衛生易簡方

又方桑螵蛸を酒に煮し粉しして湯に煮て湯を飲下しせし
又方桑螵蛸を酒に煮し粉しして湯に煮て湯を飲下しせし
衛生易簡方

又方桑螵蛸を酒に煮し粉しして湯に煮て湯を飲下しせし
又方桑螵蛸を酒に煮し粉しして湯に煮て湯を飲下しせし
衛生易簡方

又方紙をその人の寝る所の下に置き置べし
又方紙をその人の寝る所の下に置き置べし
衛生易簡方

丹ゆ痛人よあしむるうけ 傳信尤易方

大便之部

大便結

大便結しそふどがさし

本草綱目

桃花を粉しそふ水しそ用也

又方根壳麩をさりて劉耳草と等分にし水しそ煮しそ用也

小兒大便結しそふしそ用也 同

又方皂莢を炙り根壳麩とすり熱しかきそを炒し二味を粉し

密しそ神り大豆の大さ小丸に百粒程飯のとり湯しそ用也 傳信尤易方

又方麻仁一ふを粉し麩を同く研水し入るそを湯と煮り去

椒仁炙りし炒研し泥のどくし煎芥粉しそ各半を右四味ひ

そしそ塊少入煮下して茶れりし煮下しそ用也 同

茶と止瀉し得効方

又方生麻子を研しそらし中かきそを飲べし 同

大腸風熱しそ大便結しそ用也

黒牽牛少し炒して十粒桃仁炙りかきそを炒して皮と炙り

同く粉し一室して豆粒既二十粒白湯しそ用也 衛生丹の間方

又方烏臼本一寸四方にさし水二合を煮下しそ煮つら多く

のそしそ 同

腸胃湿をうけ大便結しそ用也

檉棉を粉しそ二合湯し煮下しかきそを煮下しそ用也 十便良方

腸胃を燥くは多し多く飲しそ用也 大便結しそ用也

陳皮を後炒し至葉根壳を通気分しそ煮下しそ用也 得効方

老人津液がひそく大便結しそ用也

芫花を蜜しかきそを煮下し根皮威靈仙を粉しそ煮下しそ神り

方多と七壯まへてりー 本草綱目

又方白炭を焼粉して二合づ粥のうへ湯を七用也 同

又方塊を醋うくと紀脈の中へ付くうかひ何遍も付く

く塊を肚門へそまひてりー并小塊を紙につくゆいれま

中を飲くうー 同

又方白炭を火いれ入炭桶の内へ火いれもふれ其上に産一

煙くく肚門をふくまへてりー 傳信元易方

又方六葉荊芥穂別く二粉うー大便をせむかうううう荊芥

をせむ減く小便をせむうう方法をせむ大便を減く一合

二合を後白湯を七飲なりー 治法彙

中風

一切の中風

石膏蒲葉四百八十枚袋に入れ酒二斗五升の内へ封

おくと百日小く七緑多ううなりを附く素茶と二升を合

まて封おくと十四日ううて取かー毎日のうてりー 本草綱目

又方旋覆花を搗粉うー密うて胡椒小丸下陰附く素湯

く百粒づ用ゆ 衛生易簡方

又方梨子と多く食うてりー一月の食とるうー 千金簡易

中風は肺を氣と失ひてりー 本草綱目

白木は酒一合をいれ煮下もふく一合づつり用也

又方附子を粉うー口を推わけ管を喉へ吹入るうー 同附子車製

又方苦酒を白炭を多ううて二合水も煮下用也痰を吐か

しく食なりー 同

又方芥子一合二合二合いれ煮下一合煮つり領并く頰の

あつりううー 同

キクハのよれ心は湯を蒸焼しよれものよまきくくくく
唱うくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
又方鳥頭縮蒸を粉して二三分鼻肉へ吹くべし涎を吐き
金匱一 同

又方皂莢皮をくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
唱うくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
肘後備急方

又方苘麻仁を搗つけくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
たへゆるは眼唱斜くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
本草綱目

口唱面目くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
控んをゆきてくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
又方乳香をくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
又方乳香をくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
中風舌強り言くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

中風舌強り言くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

大豆をゆきて煮爛飯のくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
又方肉桂を粉して舌のくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
又方人乳竹瀝をくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
又方芥子を醋して煮搗く頭より納くくくくくくくくくくくくくくくくく
又方独活十んんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
ゆれ蒸をくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
肘後備急方

中風身遂くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
附子十んんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんんん
本草綱目 附子の車製法のすわり

又方草烏頭原蚕ゆきて粉して蚯蚓を研きくくくくくくくくくくくくくくくくく
よりかじ脂糊くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
又方草烏皮を去り大豆一合を搗くくくくくくくくくくくくくくくくくく
三豆夜くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

又方草烏皮を去り大豆一合を搗くくくくくくくくくくくくくくくくくく
三豆夜くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

又方草烏皮を去り大豆一合を搗くくくくくくくくくくくくくくくくくく
三豆夜くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

又方草烏皮を去り大豆一合を搗くくくくくくくくくくくくくくくくくく
三豆夜くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

又方草烏皮を去り大豆一合を搗くくくくくくくくくくくくくくくくくく
三豆夜くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

中風熱昏ふりし
大戟四升苦參四升醋之并して煎熱一匙身をわくべし熱の
さし方まじらわひてより
本草綱目

中風痰涎詰り咽ぬまり死ぶるなり
牛蒡子の子とろり物荊芥穂とびとこを十升甘草又同どく
粉して二升づ湯いれくさませ夜ふゆり用也 千金簡易方

中風瘧つらうして卒に瘧疾を用ゆりてくわくぶらう
南星一升茯苓二升生薑三斤水天目一二盞入一盞ま
煮下つち用也 同

中風汗あき風を忍びし
麻黄防風杏仁等分水七升煮下之を煮下之のそより
桂枝芍薬各半仁等分水七升煮下之を煮下之のそより 同

中風大小便をせざるは実病して内は熱ありたり
大黃厚朴枳實羌活等分水七升煮下之を煮下之のそより 同

中風腹中よりなりし
好酒よく羌活を煮下之のそより 景聚單方
又方伏龍肝を水に煮下之を飲べし若病人は喉からりい管
よく毒の間より吹りべし 千金方

婦人の中風血熱ありて腹中いし
紅花子四合つさく酒一斗を煮下之晒くかきし粉と
粉と糊とく粉胡椒の末を丸一斗粒づ夜より酒とて
用ゆ 景聚單方

中風汗あき風を忍びし
麻黄防風杏仁等分水七升煮下之を煮下之のそより
桂枝芍薬各半仁等分水七升煮下之を煮下之のそより 同

中風大小便をせざるは実病して内は熱ありたり
大黃厚朴枳實羌活等分水七升煮下之を煮下之のそより 同

中風腹中よりなりし
好酒よく羌活を煮下之のそより 景聚單方
又方伏龍肝を水に煮下之を飲べし若病人は喉からりい管
よく毒の間より吹りべし 千金方

婦人の中風血熱ありて腹中いし
紅花子四合つさく酒一斗を煮下之晒くかきし粉と
粉と糊とく粉胡椒の末を丸一斗粒づ夜より酒とて
用ゆ 景聚單方

小兒の中風も足少人水とは啼くと志よりなり
肉桂を水と煮て飲べば冷して用也 本草綱目

痛風

痛風の熱牙の骨節痛く虎の咬ぶごとく或は或は足と
さざりば方々へ福なりていじなり

芥子を粉し鶏子れれとて神り痛風ありてり 同

又方樟本とこざと水とて湯を煮て桶にいれ湯と足に
のせまきくり足のうら草薦をおかいて湯の蒸れをさざり
やふして煮べー但湯のこも目あててさざりてり 同

又方松節二百二十ふささ酒み升とて漬と十四日と
毎日二三合わづくのそりー 千金簡易方

又方柳の本心皮をとり百ふささ酒にいれ煮乾し

熨て布とて痛風のよと熱くう注ぎ取て熨て 單方
又方延胡索蜀肉桂各を粉し酒とて用也 同

又方葱板を炙り粉し二ふさ夜と酒とて用也 痛風
脚をさざりて軟くなりり用とてなりー 得効方

痺症 附麻木

痺症いも足まびきうかひざりなり

原蚕砂を炒炙し袋にいれ酒と後一のそりー 本草綱目
又方薑炭仁十五ふ附子一つ熱灰にいれうらまふ粉とて
二三ふづく白湯とて用也 日二三夜用とてり 同

又方麻黄二十ふ桂心十五粉し酒と合とて煮乾しゆく
し煮つち錫のどろしとて一七づ粉し酒にいれのをけと出とて
り 風痺冷いしひし用とてなりー 同

又方薏苡仁を粥に煮て中夜に食して之を

又方水紅花枝葉と小桑葉と同水と煮て桑下葉と玉液と

脚痺とありて歩行をうかぬる

草薢と牡仲一各粉して二盃づ毎朝温酒に之を以て

茶を用る肉牛の肉を食とる

十の指痛をひれりうかぬる

生附子皮とく朕とを去本番等分して二片入水に煮

一用ゆ同

腹の皮痺を煮て食して之を

葱の白を煮ておほく食して之を

湿熱痺症肢のうら熱をひれり

龜の肉を煮て食とべ

腰膝など痺いむ

川烏頭皮を煮て之を四十

粉と酒糊とを和り大豆の大

桑湯を忌む

風痺節を和り

白飲二盃子粒灰とこれと

酒入飲一日二度づ用ゆ

足痛も痺もを治す

表を和り桑葉葉灰と

同

同

同

同

同

同

同

普救類方卷之二下 終



